

平成30年度進行管理・評価シート
鎌倉市歴史的風致維持向上計画（平成28年1月25日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実現に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画に関する施策	2
2 景観地区の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 景観重要建築物等助成事業	4
2 扇湖山荘庭園防災工事業	5
3 歴史的風致形成建造物保存整備事業	6
4 交通需要マネジメント事業	7
5 北鎌倉県道沿い歩行空間整備事業	8
6 社寺境内公衆トイレ改修・整備事業	9
7 歩行環境改善事業	10
8 樹林維持管理事業	11
9 緑地維持管理事業	12
10 緑地保全事業	13
11 風致保存会助成事業	14
12 歴史的風土特別保存地区買入れ事業	15
13 発掘調査速報展事業	16
14 出土遺物庁舎内展示事業	17
15 史跡環境整備事業	18
16 文化財保存・修理助成事業	19
17 文化財調査・整備事業	20
18 観光案内板整備事業	21
19 郷土芸能普及啓発支援事業	22
20 御霊会助成事業	23
21 教育情報事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の指定	25
2 文化財の修理(整備事業を含む)及び防災	26
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 魅力をPR “歴まちカード” 鎌倉市で配布	29
ほか	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 日本遺産に関する普及啓発活動	30
2 歴史的遺産と共生するまちづくり(歴史的 風致維持向上計画)の啓発	32
3 計画に位置づけた事業の完了数、整備 箇所数	33

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	34
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況
計画の実現に向けた推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

計画を推進するためには、特に文化財保護行政とまちづくり行政とが密接に連携していく必要があることから、計画策定段階で設置した庁内の横断的な組織である「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」を中心に、関連部局との連携体制の強化を図るものとする。また、同じく計画策定段階で組織した「鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会」についても、定期的に開催し、PDCAサイクルを意識した変更協議や計画実施に係る連携調整機関としての役割を担うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致維持向上計画の取組状況を議題として、庁内の関係課長等で構成する「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」を開催し、計画に登載した構成事業の進捗状況について情報を共有するとともに、着実な推進に向けて共通の認識を高めた。(平成30年8月28日)

・歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価を議題として、平成30年度第1回「歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、法定協議会委員の意見聴取を行った。(平成31年3月28日)

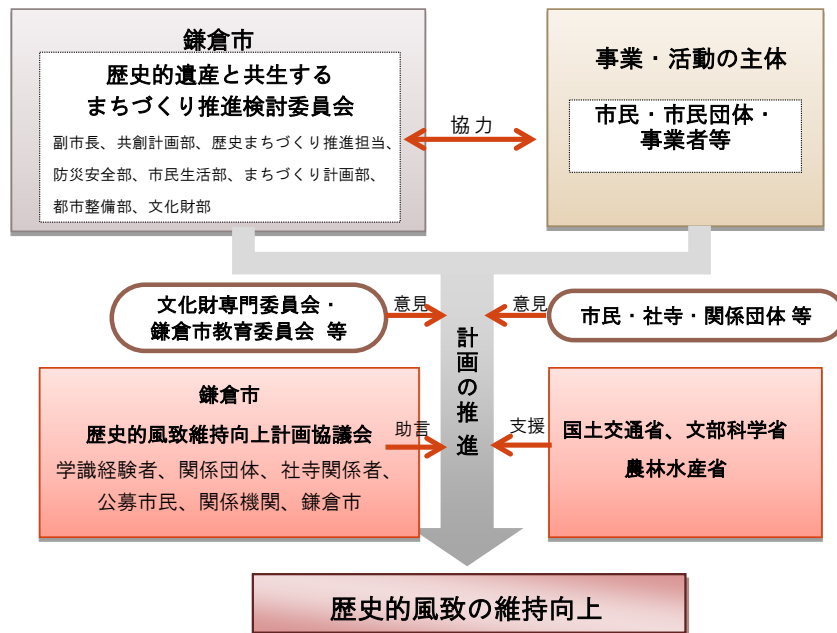
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

庁内の横断的な連携をより深めるために設置した、「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会・推進検討部会」を有効に活用し、情報共有と計画に対する共通認識を図りながら、計画に登載した構成事業を着実に推進していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○平成30年度の推進体制



歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成31年3月28日(木)
- 議題
 - ・鎌倉市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について
 - ・鎌倉市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について



第1回協議会の様子

評価軸②-2

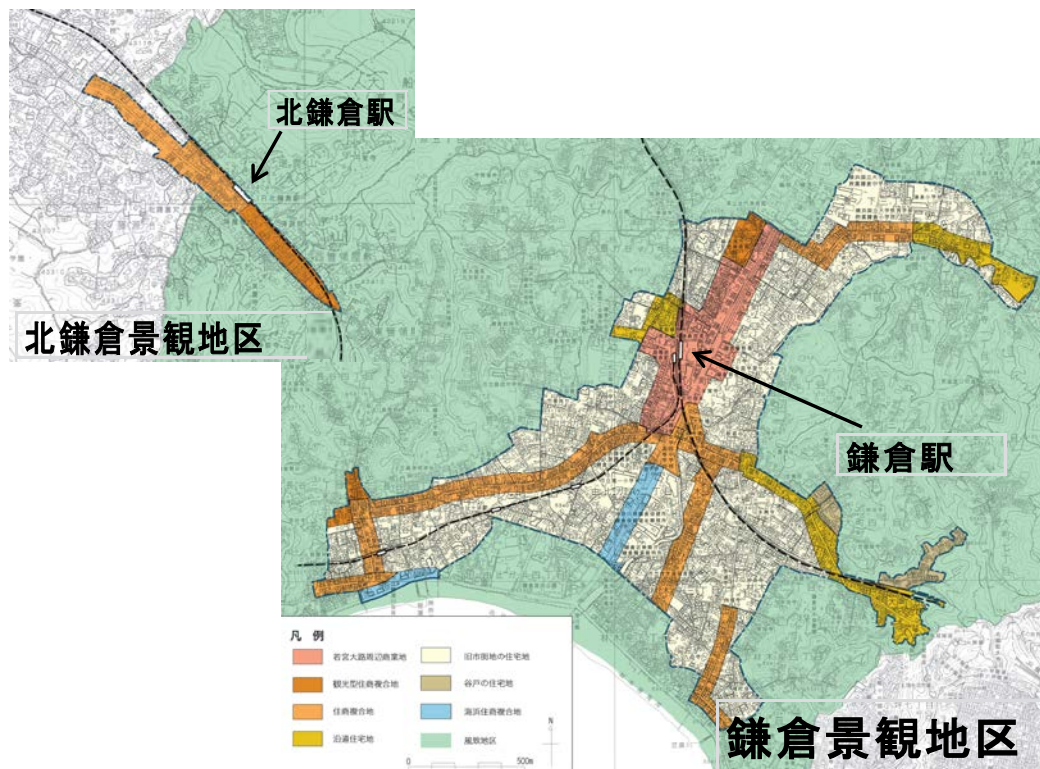
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成30年度
項目			
景観地区の活用			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	重点区域を中心に古都保存法や都市計画法、景観法などの様々な制度を活用し、良好な景観の形成に努めてきた。本計画の推進においても、既存制度やこれまでに策定した計画の適正な運用により、歴史的風致の維持向上に努めるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成29年3月に改定した鎌倉市景観計画に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。 ・重点区域内に位置する鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区内の建築物の建築等に対し、景観形成基準に基づき規制誘導を行った。 ・神奈川県屋外広告物条例及び鎌倉市景観計画に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。 【定量的数値】 景観地区内認定件数: 鎌倉景観地区 119件／北鎌倉景観地区 1件 ※申請があった全ての建築物の建築等が、協議を経て景観形成基準を満たしたため、計画を認定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区 位置図

鎌倉景観地区



景観地区の概要

- ・鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区において、それぞれ形態意匠の制限を定めている。
- ・さらに、両景観地区内を7つの地区に区分し、地区ごとに形態意匠の制限(色彩の制限も含む)を定めている。
- ・建築物の高さの最高限度は15m(第一種低層住居専用地域内においては10m)。ただし、この高さ制限を満たしている場合においても、周辺のまち並みに調和しない形態意匠であれば、高さを更に抑える必要がある。
- ・原則として、全ての建築物の建築等について認定申請を要する(ごく小規模な建築物の建築等を除く)。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
景観重要建築物等助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成8年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市景観重要建築物等の保存又は活用のために必要な修繕、又は外観の修景を含めた工事に対する助成金を交付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
景観重要建築物等助成(平成30年度) 実績4件／当初計画3件 都市景観条例に基づき指定している景観重要建築物等について4件の建築物(かいひん荘鎌倉、平井家住宅・長屋門、寸松堂、日本基督教団鎌倉教会会堂)の修繕等に対し、計3,096,000円の助成金を交付した。かいひん荘鎌倉は強風により、棟部分の銅板が破損したため、この修繕等を行った。平井家住宅・長屋門は床下や和室の敷居等に蟻害による腐朽がみられたため、防蟻処理を行った。寸松堂は、台風により、一部の外壁が剥れ、屋根の銅板が破損したため、修繕等を行った。日本基督教団鎌倉教会会堂は、屋根の塗装修繕に加えて、台風による屋根の破損を修繕した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	景観重要建築物等に指定している建築物等は、いずれも築年数が経過しているため、所有者からの修繕等の相談は多くなっているが、市の財政上、全ての相談に対応するのは難しい状況である。今後は平成27年に設置した、景観重要建築物等保全基金を有効活用していく。	
状況を示す写真や資料等		

寸松堂 修繕前



寸松堂 修繕後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
扇湖山荘庭園防災工事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	鎌倉山に所在する扇湖山荘の庭園において、斜面地の崩落を防ぐための工事を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度以降、防災工事は実施していない。一方、当該地を含む本市所有の未利用不動産について、平成30年3月に「鎌倉市公的不動産利活用推進方針」を策定した。また、同月、防災工事未実施箇所のうち1箇所で崖の崩落が発生したため、応急処置を施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	「鎌倉市公的不動産利活用推進方針」に基づく具体的な利活用検討の進捗状況に応じて、必要であれば令和2年度以降の予算化に努める。		

状況を示す写真や資料等

現況写真



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に在している歴史的風致形成建造物、その保存活用を図るため、必要に応じて耐震調査や改修設計内装の修理や外観の修繕を含めた工事等行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・「鎌倉国宝館」について、歴史的風致形成建造物の指定を平成30年9月28日に行い、「歴史的風致の維持及び向上に関する法律」第14条第2項の規定に基づく標識の製作を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・「鎌倉国宝館」については、令和元年度に外溝の改修工事を実施していく予定である。 ・「旧鎌倉図書館」については、平成30年度に改修工事を予定していたが、構造部材の腐朽が確認されたことから、令和元年度以降に設計変更を行う予定である。併せて、国登録有形文化財の登録を目指すとともに、登録に至った際は歴史的風致形成建造物の指定を順次行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

鎌倉国宝館



沿革等: 鎌倉町立鎌倉国宝館として、昭和3年4月3日に開館。

平成12年5月25日に国登録有形文化財の告示。
 構造規模: 鉄筋コンクリート造2階建・瓦葺
 床面積833.85㎡

奈良の正倉院を模し、内部は鎌倉時代の寺院建築の手法が用いられた高床式校倉風建築で、入り口の窓には旧鎌倉町の町章であった星月マークのステンドグラスがはめ込まれた、和風表現と近代的技法の調和が伺える歴史上、景観上価値の高い建造物である。

旧鎌倉図書館



沿革等: 鎌倉町立の施設として、昭和11年10月に開館
 構造規模: 木造2階建て・トラス小屋組
 床面積343.15㎡

縦長の上げ下げ窓が並ぶ洋風の壁面に瓦屋根を載せた和洋折衷のデザインとなっており、両切妻に懸魚(げぎょ)のついた破風板が設けられている点が特徴的である。この意匠は同時期に建てられた旧講堂を意識したのではないかと推測される。これらの特徴的な意匠から、旧鎌倉図書館は、同一敷地内にある旧講堂、冠木門及び前面の歩道と一体で良好な景観を形成しており、旧講堂と同様に景観上の重要性は高いものである。

写真は改修工事開始前の旧鎌倉図書館。外観の意匠を継承しながら改修工事を行う計画である。

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
交通需要マネジメント事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成13年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 休日を中心とした交通渋滞の緩和を図るため、交通需要マネジメント(TDM=Transportation Demand Management)施策を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成27年度 (仮称)鎌倉ロードプライシングの検討に特化した鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会を開催しシステムや法制度に関して議論を開始した。
 ・平成28年度 平成8年度以来の鎌倉地域の交通実態調査を実施し、現在の鎌倉地域の交通量などを調査した。鎌倉市交通計画検討委員会では20の施策中の歩行者尊重道路について検討を進めた。
 ・平成29年度 平成28年度に実施した鎌倉地域の交通実態調査を基に(仮称)鎌倉ロードプライシングの交通シミュレーションを実施し、導入効果を検証した。また、鎌倉市交通計画検討委員会で歩行者尊重道路として9路線を指定し、車両の速度抑制策としてハンプの設置について検討を進めた。
 ・平成30年度 (仮称)鎌倉ロードプライシングの導入を目指すにあたり、意見交換会及びシンポジウム等を開催し、市民・事業者等に対して周知活動を行った。歩行者尊重道路の小町大路について、地元住民と協議し車両の速度抑制策について検討を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

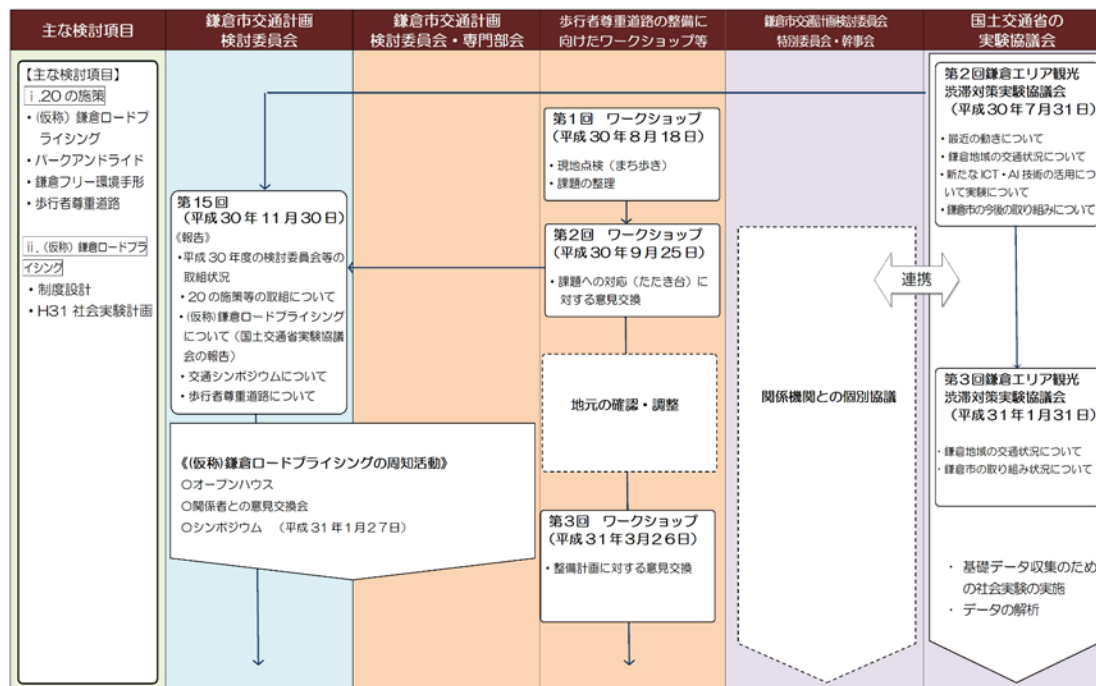
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

(仮称)鎌倉ロードプライシングについては、法制度やシステム面での課題を鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会で整理しているが、課金の法的な根拠付けや具体的な徴収方法の確立など、解決に至っていない課題がある。国内における先例も無く、難しい取組ではあるが、鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会などを通じて国土交通省と連携しながら、引き続き課題解決に向けて関係機関等との調整を行っていく。

状況を示す写真や資料等

平成30年度の検討委員会等の取組状況



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
北鎌倉県道沿い歩行空間整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

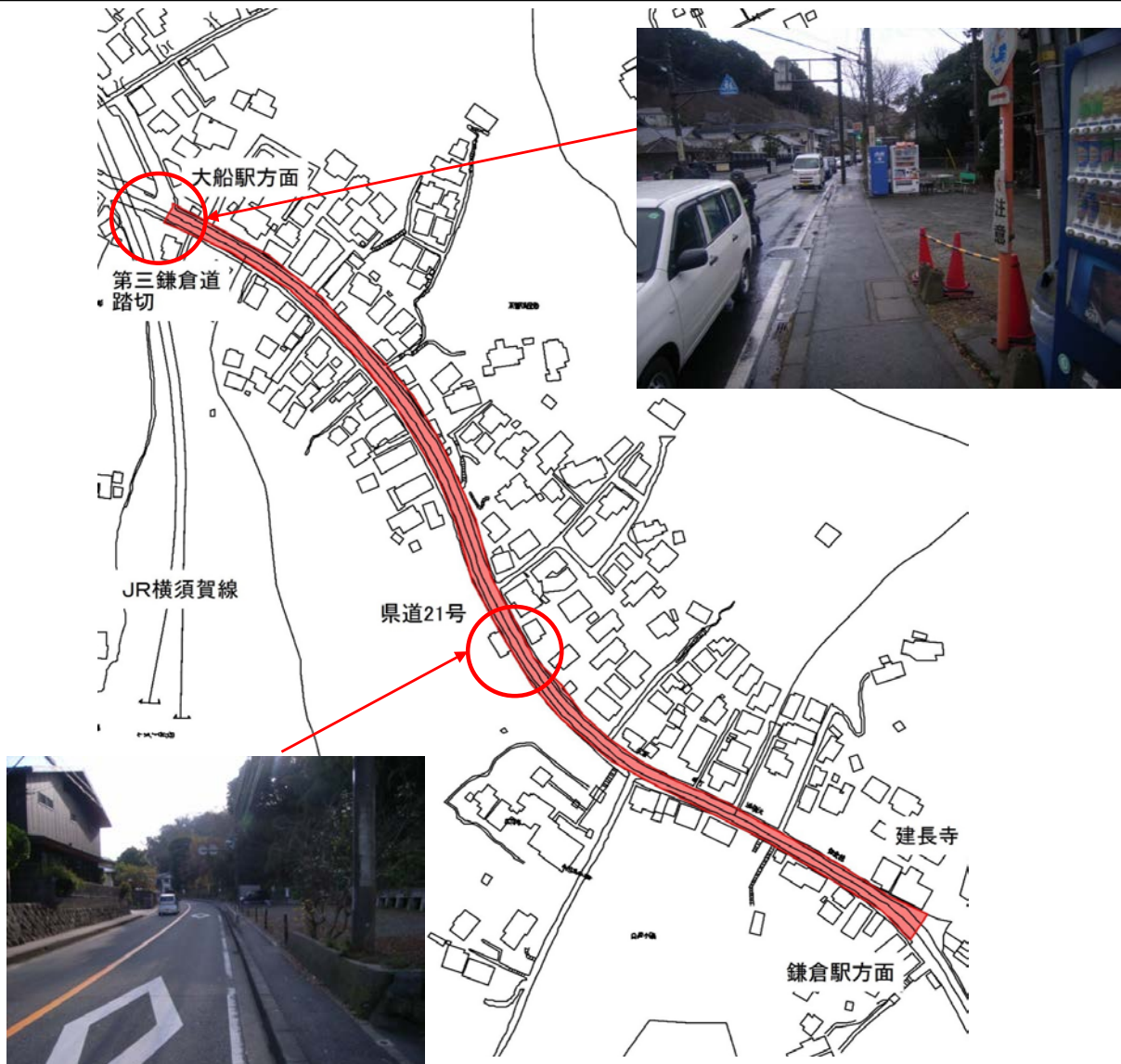
計画に記載している内容 JR北鎌倉駅に近接する第三鎌倉道踏切から建長寺前までの県道21号沿いの民有地を整備し、快適な歩行空間の確保を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は地元や関係機関との協議及び事業着手に至らなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	都市計画道路としては既成済みとなっているため神奈川県では整備の必要がない旨の回答を得ている。このため、今後地元要望を吸い上げる形での全体計画を形成し、その後、神奈川県に協力を求めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
社寺境内公衆トイレ改修・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和39年度～令和4年度

支援事業名 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金

計画に記載している内容 老朽化の進んでいる社寺境内等の公衆トイレについて、ユニバーサルデザイン化と機能改善を図るための改修・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・本覚寺公衆トイレについて、平成30年7月に着工し、平成31年3月に竣工した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

残存する老朽化の進んだ公衆トイレは、限られた狭いスペースに設置されているため、限られた予算の中で可能な範囲でユニバーサルデザイン化を行う。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
歩行環境改善事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 年間を通じ多くの観光客が訪れる場所において、周辺道路の美装化等を行うことにより、歩行者の誘導・通行量の分散を図り、歩道の混雑軽減に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は地元や関係機関との協議及び事業着手に至らなかった。
計画期間内の事業終了を目指し、地元や関係機関との協議に関するスケジュール調整を行っている。

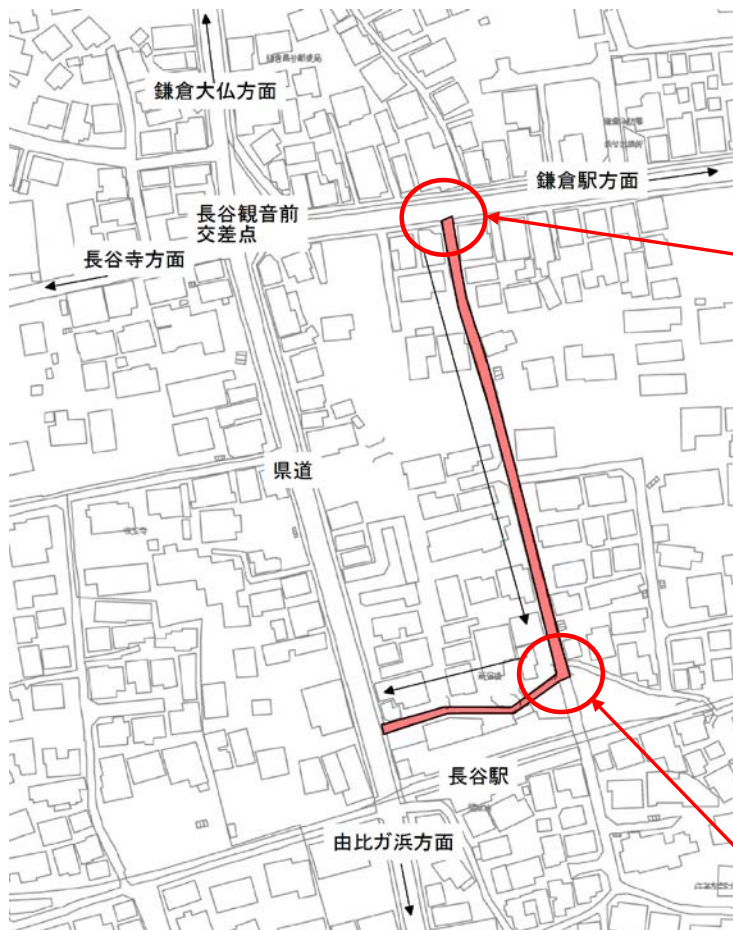
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

県道歩道から裏通りへ観光客の誘導・通行量の分散を行った場合、騒音やゴミ問題などの住環境の変化に対して、地域住民の合意を図っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
樹林維持管理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和63年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風土保存区域、近郊緑地保全区域等の良好な環境を守るため、該当地域を6分割し、毎年1地区を対象として、所有者に代わり樹木の枝払い等を実施する。 【実施内容】 ①自然林 山際の樹木が家屋に直接触れている部分及び家屋を被っている部分の枝払い、家屋や通行上で直接被害を受ける、又は危険を感じると思われる倒木や枯損木の伐採 ②人工林 人工的に植栽された樹木で、ある程度まとまりがある箇所の間伐や枝打ち等（自然林に係る事業を実施した後の予算の範囲内で実施）		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
樹林管理事業の30年度実施数量 ・枝払い343本 ・伐採 26本 （樹林管理の「取扱い基準」に基づく現地調査の結果で優先度A・B・Cのランク付けを行い、平成30年度は取扱い基準に適合するもの全てを対象に事業を実施した。）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		樹林管理事業は該当地区を毎年1地区ずつ6年1サイクルで事業を実施していたが、平成29年度から毎年2地区ずつ3年1サイクルに見直しを行ったため、今後は短いサイクルで対応することが可能となった。	
状況を示す写真や資料等			

【平成30年度実績】[枝払343本、伐採26本の合計369本、灌木伐採654㎡]
 平成30年度は、長谷・極楽寺地区及び佐助・御成地区で実施
 対象者:508件(未着41)のうち申請者:103件
 実 施:83件
 未実施:基準の対象外:20件

【平成29年度実績】[枝払245本、伐採35本の合計280本、灌木伐採279㎡]
 平成29年度は、浄明寺・十二所・大町・材木座地区で実施
 対象者:581件(未着84)のうち申請者:119件
 実 施:優先順位A:68件
 未実施:優先度の低い箇所:17件
 基準の対象外:34件

【樹林管理事業 現場写真】



施工前



施工中



完了

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目	現在の状況	
緑地維持管理事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和56年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市が所有する緑地において、傾斜木や枯損木などの危険木、隣接地への越境樹木がある場合、事前の伐採等を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
緑地維持管理事業の30年度実施数量 ・除草・灌木伐採等:85緑地において延べ面積161.08㎡ ・伐採・枝払い:139本の樹木、2200本の竹について伐採・枝払いを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	道路や家屋に面した危険性のある緑地について、緑地維持管理計画を策定するための検討を行った。	

状況を示す写真や資料等

【緑地維持管理事業 現場写真】



施工前



施工中



完了

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
緑地保全事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 昭和47年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 美観上優れた樹木、樹林、生け垣を指定し、所有者に対し、適切な管理に係る奨励金を交付する。また、市街化区域に所在する緑地の保全を図るため、土地所有者と緑地保全契約を締結し、奨励金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度: 樹木等の指定、緑地の契約を締結し、奨励金を交付した。(実績は、下表のとおり)
平成30年度: 樹木等の指定、緑地の契約を継続し、新たな樹木等の指定(4件)を実施した。また、奨励金の交付を予定している(緑地保全契約奨励金の上半期分については平成30年9月に交付済み)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和元年度: 樹木等の指定、緑地の契約を継続し、新たな樹木等の指定及び奨励金の交付を予定している。

状況を示す写真や資料等

平成30年度 指定／契約状況及び奨励金交付状況

- ・保存樹木(1本または1株につき年額1,800円)
- ・保存樹林(100平方メートルにつき年額530円)
- ・保存生け垣(片側の面積10平方メートルにつき年額860円)

項目	平成30年度末指定状況		平成30年度末奨励金支出状況		
	件数	本数・面積	件数	本数・面積	奨励金の金額
樹 木	64	328	61	319	569,700
樹 林	186	2,414,998.63	170	2,314,975.63	12,220,740
生け垣	105	9,182.54	99	8,670.54	714,660
合 計	307	-	285	-	13,505,100

※奨励金を辞退された方等を含むため、指定状況とは異なります。

※樹木、樹林、生け垣を重複して指定している方がいるため、件数の合計は各項目の合計と一致しません。

・緑地保全契約

(固定資産税、都市計画税及び特別土地保有税に相当する額

並びに現状維持に対する手当ての助成金として1平方メートル当たり13円を乗じて得た額の合計額)

項目	平成30年度末契約状況		平成30年度末奨励金支出状況		
	件数	面積	件数	面積	奨励金の金額
緑地保全契約	115	529,532.72	116	530,924.72	8,272,120

※年度内に契約変更等があったため、契約状況とは異なります。



風致地区に位置するサングジュの保存生け垣(笹目町)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
風致保存会助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和58年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上に深く関わっている鎌倉風致保存会の運営に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため、運営費として10,312千円の補助金を交付した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



鎌倉風致保存会が取得し事務所として活用している
旧坂井邸洋館



鎌倉風致保存会による史跡保存管理活動
【内藤家墓地(光明寺)】



鎌倉風致保存会による緑地維持管理活動
【建長寺回春院】



鎌倉風致保存会による緑地維持管理活動
【御谷】

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史的風土特別保存地区買入れ事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和42年度～令和7年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(古都保存・緑地保全等事業)		
計画に記載している内容	歴史的風土特別保存地区内において、土地所有者が建築物その他の工作物の新築等の行為の許可を受けることができず、土地利用に著しい支障をきたすため、土地所有者から土地を買入れるべき旨の申出があった場合、買入れを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
古都保存法に規定する行為許可基準を満たさないため不許可となった行為のうち、土地所有者からその土地を買入れるべき旨の申出を受けた6件について買入れを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	土地所有者からの買入れ申出に基づき、予算上可能な範囲内で対応を図る。		

状況を示す写真や資料等

<平成30年度に買入れた土地の例>

妙本寺・衣張山歴史的風土特別保存地区 1件



建長寺・浄智寺・八幡宮歴史的風土特別保存地区 1件

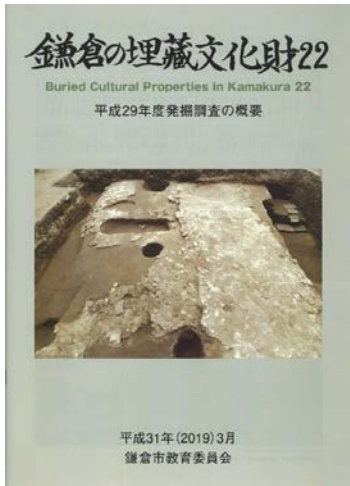


※ その他、瑞泉寺歴史的風土特別保存地区2件及び大仏・長谷観音歴史的風土特別保存地区2件を買入

 : 買入れ箇所

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
発掘調査速報展事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和7年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(地域の特色ある埋蔵文化財活用事業)	
計画に記載している内容	前年度に市内で行われた発掘調査について、出土した遺物や調査中の写真などの展示を行うとともに、併せて遺跡調査研究発表会を行う。また、「鎌倉の埋蔵文化財」として調査の概要を冊子にまとめ、無償配布する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成29年度に市内で実施した発掘調査の成果について、遺跡調査速報展において展示した。開催中の8月12日には、NPO法人鎌倉考古学研究所と共催で、遺跡調査研究発表会を実施した。平成29年度実施の発掘調査成果を写真で紹介する『鎌倉の埋蔵文化財22』を刊行した。 また、鎌倉歴史文化交流館において、出土品を用いた展覧会を開催した。 【速報展】 観覧者数 延べ416人 【研究発表会】 観覧者数 約150人 【『鎌倉の埋蔵文化財22』】 発行数 3,000冊 【鎌倉歴史文化交流館の展覧会】 平成30年度延べ入館者数19,000人		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		各事業について、観覧者を増やすために、より効果的なPRの方法を検討する。
状況を示す写真や資料等		
【速報展】 ・開催期間 平成30年8月7日(火)～13日(月)(7日と13日は準備・片付け) ・会場 鎌倉生涯学習センター ギャラリーC 遺跡調査速報展の様子  【『鎌倉の埋蔵文化財22』】 ・平成31年3月刊行 		
【研究発表会】 ・開催日:平成30年8月12日(日) ・会場:鎌倉生涯学習センター ホール 【鎌倉歴史文化交流館の展覧会】 ・平成30年3月24日～6月9日(土) 発掘調査速報展2018vol.2「特集:水と暮らす中世」材木座町屋遺跡/北条時房・顕時邸跡 ・平成30年6月16日(土)～9月8日(土) 企画展「発掘! かまくら探偵団2018～日本のやきもの編～」 ・平成30年9月15日(土)～12月15日(土) 企画展「出土漆器の美」【同時開催】明治150年記念古写真展「激動の鎌倉」 ・平成31年1月4日(金)～令和元年5月18日(土) 企画展「鎌倉Disaster災害と復興 ―土地に刻まれた痕跡―」		

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
出土遺物庁舎内展示事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の発掘調査において出土した遺物を市庁舎内に展示する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
常設展示 ・展示資料数 常設:22点 ・展示替え5回(遺物5回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・展示替えの回数を増やし、より多くの遺物を展示できるよう工夫する。	
状況を示す写真や資料等			

【庁内展示】

- ・開催期間 通年
- ・展示場所 鎌倉市役所4階文化財課カウンター横

【庁内展示の様子】



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目	現在の状況	
史跡環境整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和37年度～令和7年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	市内に点在する国指定の史跡について適切な保存管理と公開活用を行うため、防災工事、危険木の伐採、歩行路の確保、史跡説明板等の設置などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市が管理する史跡の適切な維持管理を行うとともに、平成29年度は、史跡大町釈迦堂口遺跡で樹林管理及び崩落対策工事実施に向けた基本設計を実施し、平成30年度は史跡への影響が最も小さい工法及び機械等を選定するための施工計画検討業務を実施した。 また、市が管理している史跡についての暫定的な整備、暫定的な公開、日常の維持管理などの意見を伺うため、「鎌倉市史跡等整備アドバイザー会議委員会設置及び運営に関する要綱」を制定し、鎌倉市史跡等整備アドバイザー会議を開催した。 【鎌倉市史跡等整備アドバイザー会議】 ・開催日 平成31年3月12日(火) ・会場 浄光明寺		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史跡数が多く、範囲が広いため、全ての史跡で万全な維持管理を行うのは困難であるが、平成28年度から維持管理にかかる予算を増額し対応している。	
状況を示す写真や資料等		



史跡大町釈迦堂口遺跡

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
文化財保存・修理助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和36年度～令和7年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	国・県・市の指定を受けている文化財(建造物)のうち、修理が必要なものについて修理費用の助成を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・国指定重要文化財「鶴岡八幡宮摂社若宮」の保存修理事業を実施した(平成27年度～)。 ・国指定重要文化財「光明寺本堂」の調査事業を実施した(平成29年度～)。 ・国指定重要文化財「建長寺昭堂」の保存修理事業を実施した(平成30年度～)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	(鶴岡八幡宮摂社若宮) 毎月1回、所有者である鶴岡八幡宮、設計業者、修理業者、県・市担当職員による定例会議を実施し、事業の進捗状況や修理方針についての確認などを行っている。 また、年に1回程度、文化庁担当官による現地指導を実施している。 (光明寺本堂) 年に1回、文化庁担当官による現地指導を実施し、事業の進捗状況などを確認している。 (建長寺昭堂) 年に1回、文化庁担当官による現地指導を実施し、事業の進捗状況や修理方針についての確認などを行っている。	
状況を示す写真や資料等		
 仮設足場を設置し、漆塗り工事、彩色工事等を実施 (鶴岡八幡宮摂社若宮)  現況調査を実施(光明寺本堂)  現況調査を実施(建長寺昭堂)		

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
文化財調査・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和47年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業(昭和47年度～令和7年度) 国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)(昭和59年度～令和7年度)	
計画に記載している内容	市指定文化財の管理者に対して文化財の適正な管理に係る補助金を交付する。また、発掘調査の実施や埋蔵文化財の記録保存を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【市指定文化財保存管理補助金】 ・交付対象市指定文化財件数 194件 ・所有者等 74名、総額2,415,000円 【発掘調査】 ・調査件数 5件 【報告書刊行】 ・遺跡数 28件(平成17年～23・25・26・29年実施分) ・発行数 300部(第1～4分冊各)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	管理補助金の交付対象となる市指定文化財については、定期的に所在の確認と把握を行う必要がある。また、発掘調査後、報告書が未刊行になっているものについて、平成29年度から一部委託事業とし、5年間の計画を立て解消に努めており、引き続き着実に取り組んでいく必要がある。	

状況を示す写真や資料等

【発掘調査】

・若宮大路周辺遺跡群及び横小路周辺遺跡の発掘調査において発見された遺構



・若宮大路周辺遺跡群の発掘調査において発見された遺物



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
観光案内板整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和39年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的遺産の周辺等来訪者多い場所において、歴史的遺産の紹介や観光ルート等に関する案内板の新設・改修・修繕を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市内の比較的名有ではない観光地点について、漫画「鎌倉ものがたり」内に登場するエピソードと併せて紹介する案内板を4箇所設置した。		
進捗状況	※計画年次との対応	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	設置場所の同意が得難く、選定が困難であり、新規設置よりは既存の設置物の整理を中心に実施する必要がある。	

状況を示す写真や資料等

平成30年度設置 4 箇所の現況写真



△亀ヶ谷坂



△北鎌倉



△鎌倉宮

名越切通 ➡



設置の案内板板面デザイン例



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成30年度
項目		現在の状況
郷土芸能普及啓発支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和45年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	関係団体との協働により、郷土芸能の普及啓発の場である鎌倉郷土芸能大会を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
第49回鎌倉郷土芸能大会を開催した。 ・開催日時 平成30年10月21日(日) ・開催場所 鎌倉生涯学習センターホール ・参加団体 10団体 ・来場者数 313人 鎌倉に伝わる郷土芸能を広く一般に周知するため、平成30年度は鎌倉生涯学習センターホールにおいて郷土芸能大会を開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	外国人の来場者が増えているため、PRの手法に英語等の外国語を用いる必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
第49回鎌倉郷土芸能大会の様子		
 鎌倉神楽 (鎌倉神楽保存会)  はやし獅子 (小袋谷囃子会)  建長寺鎌倉流御詠歌 (建長寺鎌倉流御詠歌講)  木遣唄 (鎌倉薦職組合木遣保存会) ※ () 内は団体名		

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
御霊会助成事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和51年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 面掛行列の実施、実施に必要な衣装・用具の保存や維持管理、行事の担い手の育成を図っている御霊会へ補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

面掛行列を実施している御霊会に対し、60,000円の補助金を交付することで、歴史・伝統を活かした地域づくりの推進と、地域に伝わる伝統行事の継承活動への支援を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

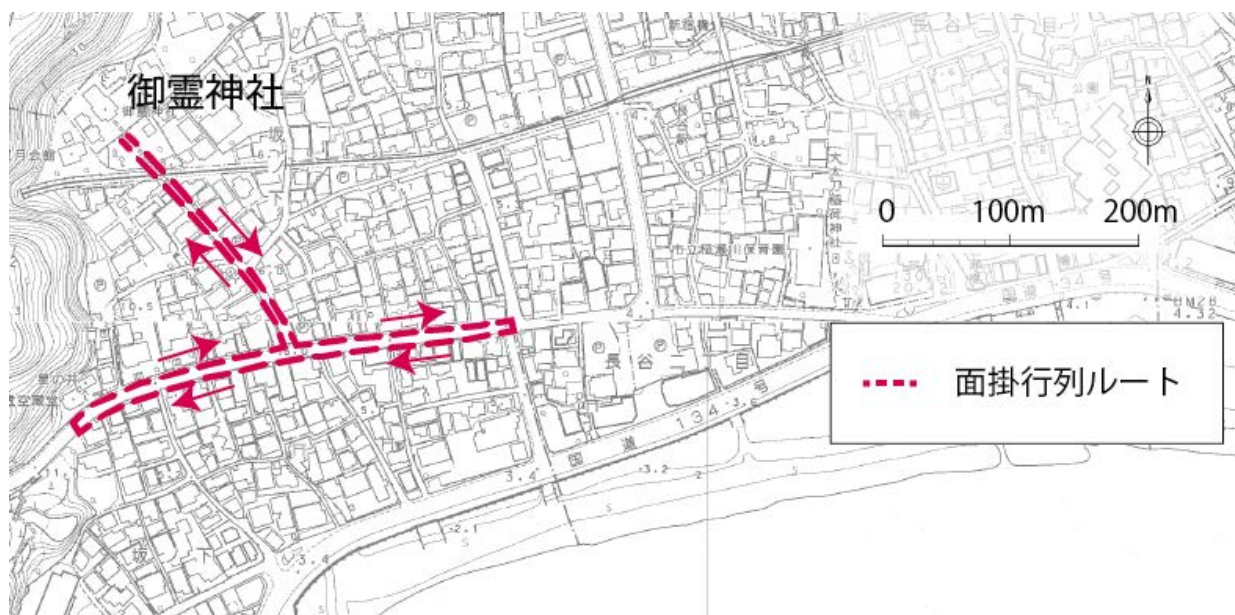
補助金活用実績: 伝統行事である面掛行列の継承のため、使用する道具類の保全に補助金を活用した。

- (1) 衣装クリーニング及び修理
- (2) 楽器修理(太鼓の皮張替え)

面掛行列の様子



面掛行列ルート図



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

平成30年度	
項目	現在の状況
教育情報事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和57年度～令和7年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市内の小・中学校の郷土学習の資料として学習資料を作成し、配付する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成30年度に中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」の改訂作業を行った。(中学校理科学習資料「鎌倉の自然」を含め、3種類を3年ローテーションで改訂を行っている) 毎年度、「私たちの鎌倉」を中学校1年生、「かまくら」を小学校3年生の全員に配付し、社会科等の学習資料として活用したことで、子どもたちが地域の歴史を学び、固有の文化や伝統行事を次世代に継承する意識の醸成を図ることができた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」の改訂作業を行った。(中学校理科学習資料「鎌倉の自然」を含め、3種類を3年ローテーションで改訂を行っている)

毎年度、「私たちの鎌倉」を中学校1年生、「かまくら」を小学校3年生の全員に配付し、社会科等の学習資料として活用したことで、子どもたちが地域の歴史を学び、固有の文化や伝統行事を次世代に継承する意識の醸成を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

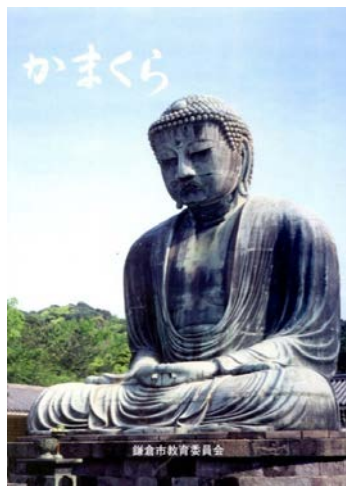
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」



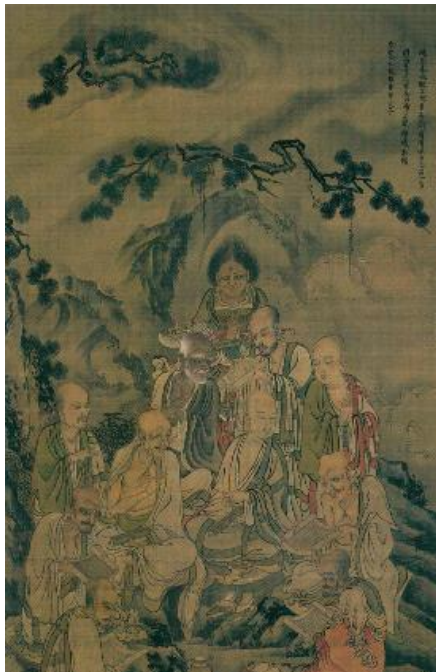
小学校社会科学習資料「かまくら」

評価軸④-1

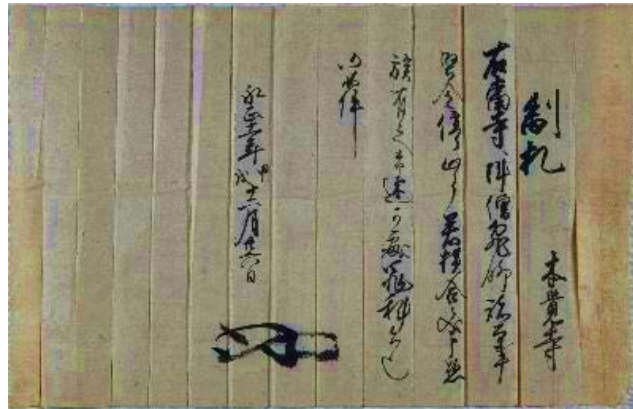
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の指定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	未指定の物件については、計画的・継続的な調査研究を進め、それらの学術的、歴史的及び芸術的等の価値を確定させるとともに、特に保存と活用の措置を講じる必要性等を見極めながら、順次指定等を行うこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度は、「絵画 絹本着色 五百羅漢図」、「工芸 鎌倉彫屈輪文三足卓」、「古文書 本覚寺文書聖教」、「考古資料 大倉幕府周辺遺跡群出土の鉄製籠手」について、平成30年11月27日開催の鎌倉市文化財専門委員会へ諮問し、平成31年1月29日に指定の答申を受け、平成31年2月20日付け教育委員会告示により、市指定文化財に指定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



絵画 絹本着色 五百羅漢図(円覚寺蔵)



古文書 本覚寺文書聖教(本覚寺蔵)

工芸 鎌倉彫屈輪文三足卓
(鎌倉彫資料館蔵)考古資料
大倉幕府周辺遺跡群出土の
鉄製籠手(鎌倉市蔵)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
文化財の修理(整備事業を含む)及び防災			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市は引き続き、国及び神奈川県と連携し、指導・助言及び修理等に係る助成を計画的に行い、指定文化財等の適切な保存を図る。 文化財の保存・活用に向け、防災・防犯に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国指定重要文化財「鶴岡八幡宮摂社若宮」の保存修理事業及び国指定重要文化財「光明寺本堂」、「建長寺昭堂」の調査事業を実施した。 ・国指定名勝及史跡「円覚寺庭園(白鷺池)」の整備事業を実施した。 ・国指定史跡大町釈迦堂口遺跡の樹林管理及び崩落対策工事の実施に向けた詳細設計業務を実施した。 ・文化財を風水害、地震、火災等の災害から守ることを目的に「鎌倉文化財防災連絡協議会」を運営し、機械警備等への補助を行って、文化財の防災・防犯に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



重要文化財 鶴岡八幡宮摂社若宮



重要文化財 光明寺本堂



史跡大町釈迦堂口遺跡



重要文化財 建長寺昭堂

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 文化財の活用を図ることは、市の目指す「住み続けたい、住んでみたい、訪れたい」まちづくりの一端を担うこととなり、所有者の意向を踏まえながら、引き続き積極的な公開活用を図る必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成29年度に市内で実施した発掘調査の成果について、遺跡調査速報展において展示した。開催中の8月12日には、NPO法人鎌倉考古学研究所と共催で、遺跡調査研究発表会を実施した。平成29年度実施の発掘調査成果を写真で紹介する『鎌倉の埋蔵文化財22』を刊行した。
 ・出土遺物について、庁舎内で常設展示を行った。
 ・市民を対象に市内に存する文化財を巡る「文化財めぐり」を平成31年3月20日に開催した。
 ・史跡永福寺跡について、平成30年4月7日に、史跡永福寺跡現地説明会(見学会)を開催した。
 ・鎌倉歴史文化交流館において、陶磁器や漆器、災害等に関する展覧会を4回開催した。
 ・鎌倉国宝館において、鎌倉の貴重な文化財に関する展覧会を9回開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

出土遺物の庁舎内展示では、展示替えの回数を増やし、より多くの遺物が展示できるように工夫する。「文化財めぐり」「史跡永福寺跡現地説明会」や鎌倉歴史文化交流館、鎌倉国宝館の展覧会については、参加者・入館者を増やすための効果的なPR方法を検討する。

状況を示す写真や資料等



遺跡調査速報展の様子



庁内展示の様子



史跡永福寺跡整備報告会(見学会)
 (平成30年4月7日)
 参加者数 約170名



「鎌倉歴史文化交流館」企画展の様子

- ・平成30年3月24日～6月9日(土)
発掘調査速報展2018vol.2「特集:水と暮らす中世」材木座町屋遺跡/北条時房・顕時邸跡
- ・平成30年6月16日(土)～9月8日(土)
企画展「発掘! かまくら探偵団2018～日本のやきもの編～」
- ・平成30年9月15日(土)～12月15日(土)
企画展「出土漆器の美」【同時開催】明治150年記念古写真展「激動の鎌倉」
- ・平成31年1月4日(金)～5月18日(土)
企画展「鎌倉Disaster災害と復興 ―土地に刻まれた痕跡―」

平成30年度延べ入館者数 19,000人



「鎌倉国宝館」特別展の様子

- ・平成30年4月1日(日)～4月15日(日) 特別展「仏像入門ーのぞいてみよう! ウラとワザー」
- ・平成30年4月21日(土)～6月3日(日) 特別展「鎌倉の至宝ー古都万華鏡ー」
- ・平成30年6月9日(土)～7月16日(月) 特別展「常盤山文庫名品展2017」
- ・平成30年7月21日(土)～9月2日(日) 特別展「仏像入門」
- ・平成30年9月7日(金)～10月14日(日) 特別展「国宝 鶴岡八幡宮古神宝」
- ・平成30年10月20日(土)～12月2日(日) 特別展「開館90周年記念 鎌倉国宝館1937-1945
ー戦時下の博物館と守り抜かれた名宝ー」
- ・平成31年1月4日(金)～2月3日(日) 特別展「没後800年 源実朝とその時代」
- ・平成31年2月9日(土)～3月3日(日) 特別展「ひな人形」
- ・平成31年3月9日(土)～3月31日(日) 北斎と肉筆浮世絵ー氏家浮世絵コレクションの至宝ー」

平成30年度延べ入館者数 48,907人

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成30年度
年月日		掲載紙等	
魅力をPR “歴まちカード” 鎌倉市で配布		2018年9月13日	リビング湘南Web・ 神奈川新聞・毎日新聞ほか
バラ200種 華やかに咲き誇る（鎌倉文学館）		2018年5月11日	朝日新聞
鎌倉の「旧華頂宮邸」 ドラマロケで引っ張りだこ 放送中の2ドラマで使用		2018年5月30日	Web産経ニュース
「かまくら長谷の灯り」 幻想ナイト（鎌倉文学館 ほか）		2018年8月25日	読売新聞
永福寺VR 眼前に再現（歴史文化交流館）		2018年9月2日	東京新聞・毎日新聞 ほか
鎌倉国宝館90周年「床下が食糧貯蔵庫に」		2018年11月19日	神奈川新聞
鎌倉時代150年 文学通じ探る（鎌倉文学館）		2018年11月25日	朝日新聞
地下に眠る“遺物”を継承 現代建築の見学も（歴史文化交流館）		2019年1月20日	神奈川新聞
文豪が残した愛の言葉 文学館、バレンタイン企画（鎌倉文学館）		2018年2月7日	神奈川新聞
鎌倉市文化財に4件指定 鎌倉彫屈輪文三足卓		2019年2月22日	読売新聞・東京新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致維持向上計画を含めた「歴史的遺産と共生するまちづくり」の取組に関連する新聞報道がされた。
- ・また、鎌倉市の情報が新聞、雑誌などメディア各種に多数紹介された。

新聞掲載件数：H27:2,050件、H28:1,733件、H29:1,705件、H30:1,768件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○「歴まちカード」



▼「歴まちカード」配布(リビング湘南Web)



▼「旧華頂宮邸」(Web産経ニュース)



評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

平成30年度

項目

日本遺産に関する普及活動

計画に記載している内容 鎌倉市の維持及び向上すべき歴史的風致(全般)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」をベースに作成した、鎌倉の歴史・文化・伝統を語るストーリー『「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～』が日本遺産として平成28年度に認定されたことを受け、その普及啓発活動を行った。
 ・日本遺産ブックレットの配布数 日本語版:99,200部 英語版29,000部(平成31年3月31日までの累計)
 ・日本遺産「いざ、鎌倉」映像のYoutube動画視聴回数 6,331回(平成31年3月31日までの累計)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

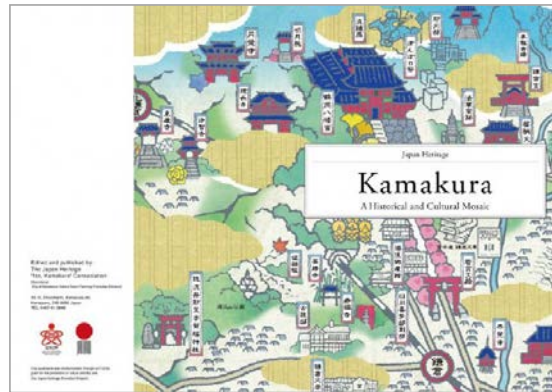
□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国内外からの訪問客に向けて、社寺をはじめとする数多くの文化財を活用した情報発信や環境整備を推進していく。

状況を示す写真や資料等

○日本遺産ブックレットの配付



○日本遺産「いざ、鎌倉」の動画公開

(Youtube「鎌倉市公式チャンネル」)



(ダイジェスト版:日本語、英語)



(禅でひもとく鎌倉の美:日本語、英語)



(武士でたどる鎌倉の歴史)



(文学)

○日本遺産サミットin高岡

開催日:平成30年9月22日(土)～23日(日)

場 所:高岡市生涯学習センター



○日本遺産「いざ、鎌倉」コンテンツ搭載タブレット端末の設置(鎌倉歴史文化交流館)



評価軸⑥-2
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

歴史的遺産と共生するまちづくり(歴史的風致維持向上計画)の啓発

計画に記載
している内容 特になし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

鎌倉市が目指す将来都市像の実現に向け、「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進を考え方の一つとして、その具体的な取組について啓発を行った。また、鎌倉の歴史や文化の魅力をさらに発信するツールとして平成29年度に開設したツイッターにおいて、平成30年度も積極的な情報発信を行った。

- ・鎌倉国宝館の展覧会:入館者数 延べ48,907人(平成30年4月～31年3月)
- ・鎌倉歴史文化交流館の展覧会:入館者数 延べ19,000人(平成30年4月～31年3月)
- ・ツイッター実績:ツイート数625件/フォロワー数783件(平成31年3月31日までの累計)

進捗状況 ※計画年次との対応

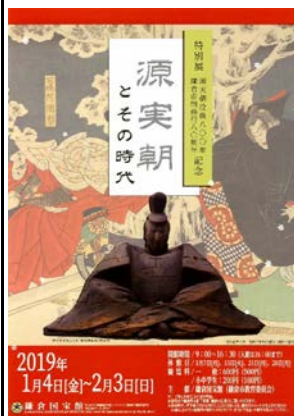
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○国宝館のイベント

○鎌倉歴史文化交流館のイベント



○ツイッター



評価軸⑥-3

その他(効果等)

評価対象年度		平成30年度
項目		
計画に位置づけた事業の完了数、整備箇所数		
計画に記載している内容	・史跡永福寺跡環境整備事業 ・鎌倉彫振興事業所整備事業	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
・史跡永福寺跡について、発掘調査の成果等を十分に反映した復元整備を行い、広く一般に公開することによって、学校教育や生涯学習の場となり、鎌倉の歴史を認識する上での重要な拠点施設となったことから、歴史的風致の維持向上に寄与した。(平成29年度完了事業) ・鎌倉彫振興事業所整備事業では、利用者の利便性向上に向け、建物の耐震工事や内部の段差解消を実施することにより、伝統的工芸品である鎌倉彫の価値や魅力、歴史などを広く一般に周知する拠点施設としての機能が整備され、歴史的風致の維持向上に寄与した。(平成29年度完了事業)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし	史跡永福寺跡については、利用者の利便性向上を図るため、公衆トイレ等便益施設の設置に向けた取組を進めていく。	
状況を示す写真や資料等		

○史跡永福寺跡



展望台から二階堂・薬師堂の基壇を望む



復原された苑池から二階堂基壇を望む

○鎌倉彫資料館



建物外観



耐震改修後(1階展示室)



改修後(1階和室の洋室化：段差解消)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成31年3月28日(木) 10:00~12:00	
(コメントの概要) (1) 生産緑地法が改正されて生産緑地の指定の要件が500㎡以上から300㎡以上まで下げることが可能になったが、鎌倉市としてはどのように対応しているか。(進捗評価シート②-1関連) (2) 扇湖山荘の利活用について、進捗評価シート③-2に「利活用検討の進捗状況に応じて、必要であれば平成32年度以降の予算化に努める」とあるが、予算化するならばどのような予算、事業執行を考えているのか。 (3) 進捗評価シート③-5北鎌倉県道沿い歩行空間整備事業は、昨年度から連続して未着手の状況が続いている。事業の見通しはどうなっているのか。 (4) 状況を示す写真や資料の掲載の仕方で、いくつか指摘したい。進捗評価シート③-3では旧鎌倉図書館の写真を掲載しているが、現在は改修工事が中断して骨組みだけとなっている状況なので、この写真は改修前の写真であるときちんと表示すべきであると思う。③-8と③-9は、樹林維持管理事業と緑地維持管理事業で、類似した事業内容だと思われるが、現場写真の掲載の仕方を同じような構成にしたほうがよい。③-14の出土遺物の庁舎内展示事業だが、展示替え5回という定量的評価がわかるように、異なる展示内容の写真を掲載するのがよい。③-17の文化財調査・整備事業は、定量的評価のところでも市指定文化財保存管理補助金は、金額はいくらであったのかもれている。発掘現場の写真は掲載されているが、そこでどんな遺物が出たのか、遺物の写真を掲載すべきだと思う。 (5) ③-4交通需要マネジメント事業であるが、ロードプライシングに関する「課題と対応方針」の書き方は、具体的な課題を挙げて、課題解決のためにどのような調整をしていくのか書くと、市民にはわかりやすい。街中でロードプライシングが展開されているという事業はなかなか見あたらず、かなり高度なことをしようとしているということも含めて書いたほうがよい。 (6) ④-3文化財の保存・活用の普及及び啓発に関連して、若宮大路でビルが新築される際の埋蔵文化財の調査で出土した遺物を、そのビルの敷地内で見られるようにしている。そうした民間の動きについて市は公表し情報発信に努めるべきだ。 (7) ⑥-3に平成29年度完了事業として史跡永福寺跡環境整備事業があるが、永福寺の復元CGを作った経過があると思う。現地でこのCGが見られれば、ビジュアル的に面白いと思うので、今後ご検討いただければと思う。 (8) 昨年、文化財保護法が改正され、文化財の保存・活用がより重要視されるようになった。評価軸の④-3の「文化財の保存と活用の普及及び啓発」の「実施・検討にあたっての課題と対応方針」の部分が空欄になっているが、③-13の「発掘調査速報展示事業」では、「観覧者を増やすために効果的なPRが必要である」とあり、③-14の「展示事業」については、「展示替えの回数を増やす」とあるように、今後の対応方針が書かれているので、同じように記載したほうがよいのではないだろうか。	
(今後の対応方針) (1) 改正法に基づき、平成30年に条例を改正し、500㎡以上から300㎡以上に、すでに要件の基準を下げていく。特定生産緑地制度については、JA等に協力をいただいて説明会を開催するなど制度の周知を図り、都市の中に位置づけされた生産緑地がなくならないように、積極的に対応しているところである。 (2) 平成30年度に先導的官民連携支援の調査で、事業者へのヒアリングを行うとともに、利活用に向けた事業手法の調査を行った。いろいろな手法のメリット、デメリットを踏まえて、どういった事業手法で活用していくかという比較検討を行っているところである。 (3) 事業期間は令和4年度までと国には届出をしているので、基本的にはこの年度に事業着手に至るように地元との調整をしていきたいが、最終的には計画期間である令和7年度までには完了できるようにしたいと考えている。県道であるので鎌倉市だけでなく、神奈川県との協力を得て進めていきたいと考えている。ただ、都市計画事業としては既成済みだという回答が神奈川県からは返ってきているので、都市計画事業としては展開することはできない。かなりの用地費を含めて金額がかかり、非常に難しい状況である。	

(4) ③-3旧鎌倉図書館の写真には、改修前の写真であることが分かるように注釈を加える。
③-8樹林維持管理事業及び③-9緑地維持管理事業は、状況を示す写真の掲載の仕方に統一感を持たせる。
③-14出土遺物の庁舎内展示事業は、展示替えがわかるように、異なる展示内容の写真に掲載する。
③-17文化財調査・整備事業の市指定文化財保存管理補助金の総額を記入する。発掘遺物の写真を掲載する。

(5) 担当課と調整し、コメントに沿った修正を行う。

(6) 民間事業者の動きをバックアップするために、この進捗評価シートにどのように書き込めるかということも含めて行政として何ができるか、慎重に検討していく。

(7) 現地の状況が露天であり、機材関係の管理が難しい。現在、歴史文化交流館でVRを常設展示として見ていただいている。VRを鑑賞した人を現地へ誘導できるような仕掛けを作りたいと考える。加えて、現地でQRコードを設置しており、それを使ってビジュアルで楽しんでもらうことをしているが、なかなかPRが足りていないので、今後注力したいと考える。

(8) コメントのとおり修正する。